

授業概要

大学生の多くは卒業になんらかの形で働くことが想定されています。さらに働く場合の多くは企業においてでしょう。企業にとって私たちはどのような位置づけになるのでしょうか。企業の生産のための手段と捉えてよいのでしょうか？人間を生産のためのモノ扱いしてしまうと物的な「資源」として扱うと思いがちです。しかし、私たちは感情を持つ人間であります。この感情を持つ個人でありながらも企業にとっては資源として把握されます。企業側はいかに効率よく管理をするのか。私たちはいかに気分よく働くのか。これらの要点について深く考え講義していきます。講義はレジュメに沿って進めていきます。また映像資料をふんだんに活用し、視聴覚的に理解を図りながらすすめていきます。

授業計画

第1回	ガイダンス：講義の概要と評価方法など
第2回	現代日本の人的資源管理と雇用問題
第3回	従業員の採用① 新卒採用の手続き
第4回	従業員の採用② 新卒者の早期離職と雇用のミスマッチ
第5回	従業員の配置と育成①：人事異動制度の内容
第6回	従業員の配置と育成②：教育訓練・能力開発
第7回	従業員能力の発揮と活用① 従業員業績の向上の公式とメカニズム
第8回	従業員能力の発揮と活用② 職場管理者のリーダーシップ
第9回	従業員能力の発揮と活用③ 労働環境の快適化と新たな勤務形態
第10回	従業員の働きぶりの評価と処遇①：人事評価制度の手続き
第11回	従業員の働きぶりの評価と処遇②：処遇評価の成果主義化
第12回	従業員の働きぶりの評価と処遇③：今日の福利厚生
第13回	企業における女性社員①：男女雇用機会均等法とその後
第14回	企業における女性社員②：ワークライフバランス
第15回	まとめ
第16回	期末試験

到達目標

まずは日本企業における人的資源管理の実情を知ることです。企業における人事制度および労働に関する様々な課題を明らかにしていきます。そこから自立した個人として何をしなければならないのか考えて、講義内容を将来に生かし、活躍できる人材となっていくことを期待します。

履修上の注意

- ① 講義は授業時に配布するレジュメに沿って進めていきます。欠席や紛失などの理由によるレジュメの再配布はしませんので注意して下さい。
- ② 授業内にてレポートを求めます。詳細は初回授業に連絡します。
- ③ 遅刻などの出席の管理に関しては初回に連絡します。また期末試験の方法に関しても初回に連絡しますので、欠席しないように。

予習・復習

労働に関する社会問題などに関心を持つこと。
配布資料に記載したキーワードを調べること。

評価方法

期末試験 60点、授業内レポート 40点
期末試験は論述形式にて行います

テキスト

- ・教科書名：従業員満足のための人的資源管理
- ・著者名：岩出博編著
- ・出版社名：中央経済社
- ・出版年 (ISBN)：9784502354816

参考図書：授業内にて指示します